

となりの区はどうしてる？ プラスチックは資源じゃないの？

23区では35年ぶりにごみの分別を変更しました。これまで不燃ごみだったプラスチックを資源あるいは可燃ごみとして収集し、可燃ごみとなったプラスチックは焼却するというものです。すでに実施されている区もあり、2008年10月からはほとんどの区で始まる計画です。

35年間燃やさなかったプラスチックを可燃ごみにすることに疑問はありませんか？

地球の温暖化を抑え、環境にやさしい循環型社会の実現には「容器包装プラスチックは、まず製品増に歯止めをかけ、ついで廃プラなどを分別収集し、その上で可能な限りリサイクルする」ことで、できるだけごみを出さない暮らしができるようにすべきではないでしょうか。

今回の分別変更は各区で対応が違い、清掃工場のある区、ない区では区民感情も違います。

そこで、市民、行政がそれぞれの垣根を取り払い、誰もが自由に意見交換をする場をつくり、この問題の解決の端緒をつかみたいと、「23区プラスチック懇談会」を立ち上げることにしました。今回のシンポジウムはその立ち上げ集会です。

ぜひ、23区の多くの皆さんとの意見交換ができるように多数ご参加ください！

これからプラスチックも
可燃ごみになって、
燃やせるようになったよ！
分別がなくて楽チンだ！



お隣の区はプラスチックを分別しているわ！
なぜ、違うのかしら？
本当に燃やしていいの？

日時：6月6日（金）13:00～16:00

会場：東京都消費生活総合センター教室

（飯田橋セントラルプラザ17F）東京都新宿区神楽河岸1-1

最寄り駅：飯田橋

参加者：区政関係者・区議会議員・区民、市民団体

参加費：200円（資料代）

主催：23区プラスチック懇談会準備会

（連絡先 3R推進全国ネット 3234-3844

